

'19のべおか

# 第九

のべおか第九だより (号外)

2019年11月19日 (火)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ <https://dai-9.info>



## 梅田先生の2回の指導 (統合版)

### @ 「第九」 2019年の指導

その付近の注意 ●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意 ○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

…… 複数回の注意

★ お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- ★ 【お話し】 (ひととおりMの部分から歌った後で)昨日、大分で初めて練習しました。今日はセットでいつものように延岡に伺おうとお話ししたところ、まだ早いと。できてない。できてなくて結構。それで申し上げたのはみなさんが出来上がったときには、皆さんが解釈したテンポであり語尾の長さであり、様々な今まで歴史を紡いできた分だけのいろんなものが積み上がってるわけですね。それを、いち早く私がこういうふうに考えますよということをお伝えするのが最優先です。それから練習されたいいのです。出来ましたと言って12月に伺ったら、みなさんがやってらしたことと僕の違いを一生懸命直そう直そう、修正しようとか変えようとかということにエネルギー使ってるうちに本番が過ぎてしまうということがよくあるんです。なので、皆さんが10月にどのくらいかはまあ今コメントしませんが(笑)案の定

いろんなことがありますので、それをまず確認いただきたい。Mのところ、速いです僕。ということは  
自ずと男性のマーチも速いです。

……まず語尾で“…n”。今うかがうと、ほとんどの所“…m”(口を閉じてしまう)になってます!? これは念仏の  
“念”、これは歯を見せていただくでもいいですけども、決して唇は閉じないです。

- 238 【Freu-de!】 (最初にMの部分から通して歌ったあとに)柳田先生がさっき練習されてたように響きを後ろにあるいは丸くとして響かせるのがいいのに、日本男児ここぞとばかり“Freu-de!”とへの字に口を結んで響きを止めてしまうのをよくお見受けするので、皆さんの歌声を聞く前に申し上げるのもなんですが、それに近いものが今あったので口の処理、それから語尾の処理は基本的に拍内です。“vor Gott.”は例外です。それ以外は拍内です。……これも行ったつきりではなく、手元に戻してください。自分ところに戻してください。“へ”の字に結ばない!! 解放。“歓び”笑顔。エネルギーを全部。さっき要領をお話したはずなんだけど、“Fr(拍1の頭で)eu-de,”。そういう意識を持たばへの字に口を結んだ顔って出来ないと思うんだ。自分とこに帰って来るんだもん。



- 257 【Dei-ne Zau-ber~】 (264小節まで一旦歌って)そうそう。ほとんど言うことないね。前にやったことが十分にみなさんの身につけてますね。もう一回確認しよう、テナーがギッタンボタンねえなん  
でこんなことベートーベン書いたかねえ? 電話して聞いてください(笑)。
- 257 【Dei-ne Zau-ber】 “Dei-ne Zau-ber”は皆さんちゃんと“…Zau-ber”に向かっています。良いです。
- 257 【Dei-ne Zau-ber~】 “縦横”がない!? “Dai-ne Zau-ber bin-den(縦縦) wie-der,(横)”。
- 258 【bin-den wie-der,】 “bin-den”が跳ねるから“wie-der,”が寝るのね。“bin-den”の“…n”は鼻に響かせる。  
……跳ねてくださいと言ったらテンポまで跳ねちゃった!?
- 259 【was die Mo-de~】 一つができると一つができない!? “was die Mo-de”が良くて“streng ge-teilt;”まで持ってない!? “was die Mo-de streng ge-teilt;”。皆さんの持続力のなさが最大の欠点です!!  
もっと欲張りましょうよ。
- 259 【was die Mo-de】 “was”はそのへん走るバスじゃなくて“ヴァス”。唇ちょっと軽く噛んで“was”。“Mo-de”はさっき(563小節)やったように深い“モー…”。
- 260 【streng ge-teilt; al-】 “streng ge-teilt;”の“…ge-…”は鼻濁音で大丈夫です。“ゲゲゲ”の“ゲ”じゃなく“streng ge-teilt;”。(勢いは)“…-teilt;”のほうに行く。
- 260 【streng ge-teilt; al-】 “streng ge-teilt;”(“ge teilt;”と刻まない。“ge-teilt”)
- 262 【wer-den Brü-der,】 “wer-den”もう少し長く。“Brü-der,”“ブリューウデル”。
- 285 【wer auch nur】 “Ja, wer”は“Ja,”“wer wer auch nur”(分ける)です。“ヤアベル”じゃないです。いい直します“Ja,”“wer wer auch nur”。
- 289 【\_ wer's nie ge-~】 “der”のdimがあるんだけど、dimを強力にしすぎると“wei-nend sich…”が死んじゃいますから“nie”は“never”と否定してもらって良いけど、そのあと(290~292小節)まで持たないです。  
……(“der”からの) dimが早い、多い!?!? “nie ge-kont,”が聴きたいんです。(dimが早いと“…kont”が聞こえず)そこで腰砕けになっちゃうから“wei-nend…”が生きてこない!?

- 290 【konnt, der steh-le〜】 試しに“wei-nend”の前にブレスを禁止したらどうなりますか?? …いけるじゃないですか!! そこでブレスをとるから“wei-nend…”の響きがなくなっちゃう!? ブレスはとらない。
  
- 291 【wei-nend sich aus〜】 “wei-nend”の“wei…”は“was”の“wa…”と“w…”が同じ (唇を少し噛んで)。  
 ……皆さんそこでpになるから呑んじゃって後ずさり!? “wei-nend sich aus die-sem Bund.”と前に進みましょう。  
 ……cresc.しないでね。進んでねえ進む、増えない。
- 291 【wei-nend sich aus〜】 dim.した結果“wei-nend”を迎えるわけで、皆さんそこで“wei-nend”起きちゃう!?
  
- 292 【die-sem Bund.〜】 “Bund.”、“ブーン…”!? “ブーン…”。
- 292 【die-sem Bund.〜】 “Bund.(縦)”(“bin-den”と同様)。  
 ……言葉が立ってきたということ、皆さん自覚があるでしょ。
  
- 313 【Küs-se gab sie〜】 (一通り歌って) なんかどっかで跳ねる練習、された?? これは音を縫っていく音楽です。“Küs-se gab sie…”振り子じゃないんです!! ずっと縫ってないと。針を途中で抜かない。
  
- 321 【und der〜】 “und der che-rub…”の“che-rub”は確かに言葉は一つですが、隙間の開け方は同じです。“und der che-rub…”。皆さんは“che-rub”繋がってる!?
- 321 【und der】 “und”の“u…”は深い“ウ”。
- 321 【und der〜】 語尾をもう少ししっかり言いましょう。“… d …r …b …t …r …tt, …t …r …tt,”(〜326)



- 323 【steht vor〜】 “vor Gott, vor Gott,”は“vor”を強く。“vor”が大事。
  
- 327 【vor〜】 “vor Gott,”ここで皆さんもの凄く転調するのね。特に男性ね。覚悟して待たない。今までの指揮者は“フォル…”ってされたんだと思うけど、僕テンポです。“ダカダカドン!”テンポ。
  
- 421 【\_ zum〜】 “\_ zum Sie-”“…ツムジィ…”じゃなくて“…ツォムジィ…”。
- 422 【Sie-gen,】 良いですねえ“sie-gen.”。“…ゲム”とおっしゃらないところが。
- 431 【--gen!】 “--gen!”の“…ゲン”鼻濁音。
  
- 543 【Freu-de,〜】 みなさんはアイドリング、ご存知ですよ。アイドリングされて来たぞというときに爆発です。ものすごい勢いでみなさんが爆発しながらこの後の男性のところ(595小節)まで一気呵成に行きたいです。それを歌い切る覚悟をお願いします。  
 ……ソプラノ、良いテンションです。でもほかの皆さんは出遅れています。テンションで負けています。ソプラノ凄いい勢いで引っ張ってますが、アンバランスなように皆さんのテンションは上がってこない!? それはもちろん発声の問題もありますけども、この渦のような“ヤタタタタ タタタタタ…”という音楽に皆さんが呑まれてしまっている!? 皆さんはそれの上に乗っかって、狂喜乱舞、歓びを歌い上げる。皆さんが昨年までされてた、あるいは長い歴史の中でこんな速いテンポは歌ったことがないとおしゃるかもしれないけど、このテンポです。ごめんなさい。

○ 543 【Freu-de,】 “ファーソラ Fr(拍の頭で)eu-de,。” “…eu-de, ”の母音が間に合うように。皆さん、“風呂入ろう”って“フ…”から思ってもらっちゃる!? “eu-de, ”が(拍の頭に)間に合うように“Freu-de, ”。…男性、遅いです!? ……男性、わずかに間に合いますか? もう少し出られますか?? “Freu-de, ”。“…eu-…”が間に合うように前でもしフライングがあると思ったら“…r…”を巻いていただきたいです。

● 549 【ly-si-~】 “E-ly-si-um, ”。“E-”, “ly-si-um, ”ってしゃっくりのようにならないように。それ以外の爆発(sf)はソプラノますます良いです。みなさん足りないです。 ……“aus E-”, “ly-si-um, ”じゃない。  
“aus” “E-ly-si-um, ”。

……そう! それで一安心したら遅くなったでしょ!? “aus E-ly-si-um, (オッケー!)” オッケーと思ったら遅くなったでしょ!? 今の感覚、ソプラノ良いですねえ。表情も良いし、大丈夫ですか? 皆さん。ついてきてますか?? (ソプラノ以外) 皆さん、ポカーンとして(ソプラノは)わかったわかったというリアクションがあるんだけど男性陣、起きてますか?? そうそう。そのリアクションが欲しいです。温度差があります。(男性陣は)熱低いです。大丈夫ですか??

● 553 【feu-er-~】 “feu-er-trun-ken, ”。“feu-er-”はとっても良いんだけど、“…-trun-ken, ”!? 最後の“-n, ”をちゃんとおっしゃれば良いんです。でも無理ってブレスの準備になってるから!? “…-trun-ken, ”の“-n, ”。

● 556 【sche, dein-~】 “dein Hei-lig-tum!”、“…n”, “Hei-lig-tum!”、さっき(553,554小節)と一緒に。

● 563 【was die-~】 後半苦しいところではありますが、“was die Mo-de”。もう少し“Mo-”が深い音で“…o-”の母音が欲しいです。“was die Mo-de streng ge-teilt;”までエネルギーが持続したいです。

● 595 【Seid um-~】 そこ、どこへ向かいますか? “ザーっ”と庭に水を撒きますか?? 今、“ザー…”でどこにも? それっきりなんです!? “Seid”これはもう少し丸いものをイメージしないとイケません。“ザーィd”と入り口に戻ってくるんです。そして“um-schlun-gen, ”



……“…d”を感じるために(“Seid”を歌う時に)弧を描くんですよ。全部手元です。

……今、出来たんですが、音が低くなるとテンションも下がりますね(“…schlun-gen, ”, “…o-nen!”)!? 音の高さとテンションは別ですから語尾までテンションをキープしておいてください。

● 595 【Seid um-~】 スタートの時に一番エネルギーがあって弱くなっている!? “Seid um-schlun-gen, ” エネルギーが持続するように。

……“Seid”の語尾が寝てしまうんですけど、“Seid um-schlun-gen, ”に進むように。進むと自ずと“Seid”の“…d”語尾がはっきり、時間が見えてくると思うんです。そこを皆さんで確認しましょう。

……“…d”の部分、(拍に)タッチするのわかりますか?? そこを揃えたい。

……進むんですよ。減らない!! “Seid um-schlun-gen, ”。

……みなさんは“Seid”までは繋がった!? “Seid um-schlun-gen, ”が一つです。

……“…-gen, ”もう少し“…ゲ…”鼻濁音で。

……“…id”の語尾が揃わない!? ここを共有しないと。三拍子を僕の棒でも皆さんの中のカウントでも一緒にとってください。

……声が張りません!? 皆さんのはどんどん減衰してしまっている!? それを逆に増やしてみましょう。

“Seid um-schlun-gen, ”間は切れるんですけど、ことばは切れないんです。体も頭も理解して、声にして。

……僕の棒が降りる前に“…-schlun-gen, ”って入っちゃう人がいるんです!?

……そうです! ピッタリです…カウントは。でも減ってます!? どうしても2つのことが達成できないから?? どっちしかないんです!? 今、テンポO.K.です。声を増やしましょう。

……“Seid ”って水流して終わっちゃうんですよ!? “Seid um-…”って進んで行かないんですよ!! 皆さんの頭が回転してないんです。息も“Seid um-schlun-gen,”って進んでないです!! 理解はできました?? あとは息の使い方です。歯磨き粉をラミネートチューブを最後まで絞るようにお腹絞ってください。最後の最後まで絞って。

……(スクランブル練習の際)皆さん、歩きましょう。歩く時、声が出るでしょ。それを居ながらにして感じてください。

- 596 【schlun-gen, Mil~】 “schlun-gen,”はスタッカートがありますから、この先の“Mil-li-o-nen!”は皆さん繋がってますけど、もう少し切れ目を意識してください。ブツブツとは言いません。“schlun-gen,”ここにも立体的なものを感じますか?? “…li…o…nen!”。
- 596 【schlun-gen, Mil~】 “Mil-li-o-nen!”新しくしましょう歯磨き粉。“Mi…”は持たないんです! ないんです中身!! 全部使ったんです!!! それを瞬時に新しいの持ってくるタイミングが遅いんです。それにここ(★)は休符がない。“Seid um-schlun-gen,★Mil-li-o-nen!”
- ……“schlun、gen,”2つですよ。繋がっている!? ……“…gen.”は鼻濁音。
- 598 【o-nen!】 “…o-nen!”?? (“…n!”で口を閉じている??) “…n!”ですよ。口をこう(大きく開く)していただいても良いですよ。唇を閉じないように。唇を閉じた瞬間に“…念”仏になります。
- 598 【o-nen!】 “o-nen!”、“schlun-gen,”同じ隙間です。
- ……“o-nen!”隙間あけます!! お願いします。すぐに覚えて変えてください!!! 同じことを2度も3度も4度も5度も言いたくないです。変えてください!! それが練習です。
- 599 【Die-sen~】 “Die-sen Kuß der,“ gan-…”じゃないんですね。“der gan-zen Welt!”(“der”と“gan-zen Welt”は繋いで歌う)。この“…Welt!”まで音楽が進む感じを体とエネルギーで。もちろん肉体はきつい所に居ますが“…Welt!”までどうか進んでください。……“Die-sen Kuß…(ドードーシ…)”この寂しい“Kuß”嫌ですよ。(今のは)全然キスしてないですね。
- ……“der”から“gan-…”に飛ばない!? 逃げない逃げない!! 柳田先生が先ほど発声やられてましたよね。その感じですよ。
- 600 【Kuß der】 “Die-sen Kuß”。Kußはお好きですか? 野暮なことは聞きませんが、僕はあまり長いキスは好きじゃない。ベツチャーじゃなくて、プシュン!! (笑)。
- 600 【Kuß der~】 “der gan-zen Welt!”まで虹をかけましょう。
- 600 【Kuß der】 “Kuß”短く!!
- 602 【Welt!】 そうそう。その語尾(“…t!”)は小節線をまたぐ前に切ってください。今みなさん素晴らしいですね。言わずもがなで先が良くなって来ましたね。
- 603 【Seid um-~】 女性の皆さんは、男性が雄々しく歌ったそれに対して、私たちが負けじじゃなくて女性らしさが欲しい。もう少し柔らかくハーモニーを感じましょう。
- ……それが女性らしさですか?? 四声帯のソプラノ。私が目にはいらぬかあ(笑)という所じゃないんです。さっきの(男性の)テンションと全然違う面を見せてください。
- ……それは声楽的にアウトですね。声になってないのね。女性らしくやさしく柔らかくフレーズを紡いでください。
- 603 【Seid um-】 “…ei…”の前に“S…”があるから“S,ei-…”と思うから遅くなるんですね!? “Freu-de,”も前に出ると言いましたよね。“…eid”の前に“S…”が付いているんです。“S…”は鼻(に響かせる)です。“…ei…”の前に鼻鳴らしたって全然問題ないです。鼻、鳴らしといてください。
- ……それです!! 保存(記憶)してください。
- ◆ 603 【Seid um-~】 ソプラノさんも“Mil---li-o-nen!”エネルギー、持続が足りない。出たところ勝負です!? “Seid-”の後、全部減衰してしまいます??

● 603 【Seid um-~】 男性、良くなりましたよ。自覚ありますか? 変わりましたね。はい、覚えてください。

……ラミネートチューブを絞るのは“Seid um-schlun-gen,”だけではなく“Mil---li-o-nen!”も絞ります。そして男性にも付け加えることがあるとすれば、“Seid um-schlun-gen,”次、新しいラミネート。“Mil---li-o-nen!”の時に新しいラミネートを出してくるのが遅い!! 毎回全部使い捨て。“Seid um-schlun-gen,、Mil---li-o-nen!、Die--sen Kuß、 der gan--zen Welt!”ここでチューブ4本使います。

● 604 【schlun-gen, Mil-~】 (一旦歌った後)もう一度やりますから皆さん、ご自身の近くのパートではなくて四声。まさに合唱の聴かせどころというか、この四声がどのようにハーモニーに使っているかに注意を向けて歌ってください。

○ 604 【schlun-gen, Mil-】 “---gen,”、汚い!! (“---gen,”は鼻濁音で)。

……“---gen,”が早い!? ……“---gen,”、ゲンこつx!? 鼻濁音!!。

○ 606 【o-nen!】 そこは切れと(楽譜は)お願いされてませんね。今、みなさんで「空を飛ばう」と話しているんです。横に横にという音楽を作っているんです。耳は縦に聴いていただきましたけど、皆さんが飛ぶのは横です。

♡ 606 【o-nen! Die】 “Die”それ、今までの流れの中で唐突ですよ。こぶしの入った“Die”それ、いらないます。直接“Die”で良いです。

○ 607 【Die--sen】 横に飛んでいるときに“Die…”って何かありました? 低気圧に入りました?? その横に飛んでいる中で“…Die…”というsfが痛い!? さっきから凄いそこ張り切ってらっしゃるんだけど、この横に飛んでいるときに何か邪魔者が入ってます!? sfの質が違う。もうちょっと深いsfをお願いします。良くなりましたよ皆さん、横に飛んでいる響きも綺麗。綺麗だと思ってくださいました?? これが積み重ねですよ。そうじゃないものをずんずん積み重ねても悪い癖しか残りませんから。良い声を皆さんで出せるんです。これをメモ(記憶)してください。今、保存(記憶)ですよ。



● 607 【Die--sen~】 “Die…”で行方知らず!?!? “Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”常にキープです。全部出っぱなしで減衰です! 皆さん? 男性の体をあげるまでもなく女性も漏れなくそうです。頭、元気良くて後全部尻つぼみです!! それは育てていく歌になっていない。歌そのものはもっと息が持続するものです。根本から違います。全部元気に始まって倒れていく?? 倒れないように絞るんです!!

○ 608 【Kuß der】 今の“Kuß”粘っこい!? ベッコヨ~(笑)。ね、ルージュが付いた!?

○ 610 【Welt!】 今の、どうですか? 美しかったですか?? それぞれのパートを主張しただけですね。世界がバラバラです。今の世の中と同じです。ベートーベンの理念はもう少し世界が一つになりたいという願いもここに入ってくるんですね。アメリカファーストじゃなくて。

……テノール、それは他のパートの音だよ!! それがレ・ファ・ラのひとつの大事なファなんですけども、その音次第でこの響きの質も色も全部変わる。でも皆さんも決して楽じゃないですよ。楽じゃない音を「出ましたあー」じゃなくて、この三声の中にどういうふうに入るかです。じゃ、ほかの方たちだけで。あとでテナーに入ってもらいます。バスとソプラノのレがあってアルトのラの枠組みをしっかりとってあげないと、そこにテノールが入れない。…で“…e…”の母音は日本人が使うエではやさしくないですね。“あっかんベェー”の響きに一生懸命歌うとどんどんそっちに行きます!? “…e…”をもう少し丸く上品に、もう少し確かなものに大事にしてください。

……柳田先生、バスが“…ベェ…”とベっちゃんこなんですけど、どうしたら良いですか? (柳田先生: “エ”と思わないで、例えば延岡弁だったら、なんしよっとけ“エ”というような“e”。) …それ、それでいっ

てください。延岡弁の“e”。……随分良くなりました。テノールがFisを頑張ろうとするとやっぱり標準語の“エ”になるの?? 延岡弁のようが良い。

♣ 610 【Welt!】 テナー、ハモってるよ?? そこがキモですからね。その音が当たるように。

● 610 【Welt!〜】 (607小節から何度も歌って) 今のが一番きれいね!! 実感あり? そしたらそこにソプラノがうまく乗ってください。

○ 610 【Welt!】 汚い、汚い!! レ・ファ・ラ。……ファが聞こえてくるはずですから。そしてテナーを迎え入れる枠にしましょう。それぞれ自己主張するんじゃなくて。

● 611 【Brü-der!〜】 男性、ここからは雄々しい男性。“Seid um-schlun-gen,…”(595小節〜)のように皆さん出てきてください。

……“Brü-der!”と名ざしします。呼びかけです。“ü-ber'm Ster-nen-zelt (星空の彼方に)”。今、始まったばかりです。“Brü-der! (皆さん)”って言ったばかりのときに“…??”。ここに指を付けておきましょう。僕に歌いながら指さしてください。

……そう、それ!!。今、指差したときに“-der!”だけ別物になったけど、意識はもうちょっと前から指さしてください。

○ 611 【Brü-der!】 “…r!”が巻いていれば良いんですけども、口を閉じるとそこで響きが止まっちゃう!? “…r!”を巻いて唇は閉じないんです。……“Brü…”を前(“…ü…”が拍の頭)。

● 611 【Brü-der!〜】 “Brü-der!”で同時に次(612)の休符を準備しておいて。チューブを新しいものに取りかえる時間です。

……あ、揃わない!?!? 今、どうなりました? 尻つぼみで“…!”が見えないんです。

……ほら今“-der!”だけになっている?? (“Brü-der!”ひとつ弧を描くようになっていない)さっきメモリーしたの、出してきてくださいよ!!

……“Brü-der!”(客席に向かって)「皆さん!」呼びかけ!!

……“Brü-der!”(円弧を描くように)。“…der!”が付け加わっている!?

○ 611 【Brü-der!】 もう少し言い切りたい!! “…der!”の“r”の語尾を言い切る。

……“-der!”にはいるのが早い!?

……“-der!”だけ取って付けたように!?!? 皆さんの“Brü, der!”(切れている)??

……切れなくなってさっきに戻ったんですね。それで言い切りを!! “皆さん!”言い切りをお願いしたい。……優しいんだね?? 言い切ってください!!

……それでまた戻るんだ!!! “-der!”にはいるのが早い!? これではテンポにならない!?!? 数えると“-der!”だけ別になるんですね。そこをミックスさせたいんですよ。わかります?? 今おんなじことを行ったり来たりしてるんですよ!! 3拍の裏が早くなったりそれだけになったりしてる!? それ一緒にしましょう。大きな三拍子の中で“Brü-der!”を言い切ってほしいんです。その拍子が皆さんの中で聞こえてこないと。

● 612 【ü-ber'm〜】 “…-ber'm Ster-…”これもさっきの“Seid um-schlun-gen,”というところと全く一緒です。言葉と言葉のつながりです。切れないように。

……“…-ber'm”が短い!! まだ3の裏を探ってる!?

……そう! 今、(出来)最高!! 止めたくなくなるくらい最高。やっと話が通じた。実感? その喜び笑顔とともにそれメモリーしてください。

……“…-ber'm”長く!!!! みなさん一つしかできないの?? さっきからいっぱいお願いしてるんだけど? なぜ直らない!? 時間だけ無駄ですよ。同じことを何度も何度も行ったり来たり行ったり来たり。同じ落とし穴に何度も落ちて「またやっちゃった」です。練習にならないそれじゃ! どうなってるんですか!!

……“…-ber'm Ster-…”(切れないように。)思い違っている!!皆さん。4分音符にあてはめて“…ber'm”!? “…-ber'm Ster-…”(切れないように。)



● 615 【muß ein〜】 “ein lie-ber Va-ter”。つらいですよ“Va-ter”に行くのにね。高いとこ飛ぶのに嫌ですけど、“ein lie-ber”と“Va-ter”を切らない。他のところでは切っても良いです。苦しかった“Va-ter”歌ってから切っても良いです。“ein lie-ber Va-ter”はブレス禁止。今、女性陣、証人ですけど良かったでしょ？他のところにも出てきますから。この後にやさしく出てきますからね(623〜624小節)。指さしても良いですよ。

● 616 【lie-ber〜】 “lie-ber Va-ter”はブレスしない約束。ほかの所でしても良いですから。

○ 618 【woh-nen.】 “woh-nen.”どっちが重さがあるかという“woh-”です。“-nen.”で念を押しちゃだめですよ。どっちかという“6-4”ぐらいの割合で減らしてください。で、間をあげながら“woh-nen.”。……言葉だけ切るんです。息は流したままです。

● 619 【Brü-der!〜】 空を飛んでいるんでしたね。空を飛ぶの忘れてるでしょ今。行進しています今!? 空を飛ぶんです!!……数えて!!!

……今度は“-der!” タイミングO.K.だけど、“-der!”はどうですか?“Brü-der! ü--ber'm Ster-nen-zelt”と空を飛んでるの、忘れたでしょ。しつこい??大丈夫!?そしてね、皆さん保存(記憶)してくださいね。削除しないでくださいね(笑)。ちゃんと保存していかないと12月まで持たないです。そのために10月運動会シーズンに来たんです。もうちょっと運動会がなければお集まりだったろうに。今日、来た人は特ですよ。みなさんの保存を差し上げてくださいね。

○ 619 【Brü-der!】 “ü…”が間に合うように“Br…”を前に。

……“…ü…”の母音の質が!? ゆっくり刀を抜くようにこれが見えぬかという出しかたね。今のは“ブリ…”!? もうそこで切れちゃってるよ!?

……その呼びかけの指さす“Brü-der!”にはコツがあって、この次にそれぞれお休み(620小節)があるでしょ? そのお休みをどうとるかで決まるんです。“Brü-der!”で(気持ちは)切れないんです。そこで指パッチンが聞こえるように皆さんがお腹を引き締めて次の準備をすることが休符をとるということで、同時にそれが呼びかけの“Bru-der!”の“…!”になりますから。

……“-der!”遅い!! 皆さん3の合図をあげるから…(歌って)そうでしょ。3がなければ裏“-der!”はないんです。3を皆さんで感じながら空を飛ぶんです。

● 619 【Brü-der!〜】 もう一度言います。“Brü-der!”で新しい歯磨き粉を出してこない!! “Brü-der!”で1本使いきるんです。次の休みで1本引っ張り出してくるんです。全員、もれなく!!

……わかった?? コツ。ピッタリ揃わないとお休み(620)にならないし、“Brü-der!”の言い切りにもならないんです。

○ 619 【Brü-der!】 女性の3拍裏の時間がマチマチ。長さが足りない、合ってない?? 長さを揃えるということは次の休み、新しい歯磨き粉を出してくる作業です。

……イチ、ニー、サンと、イチ。これだけのことです。

……男性のように“-der!”になっている?? “-der!”がどうしたの??? “Brü-der!”の“-der!”だけ独立させないように“Brü-der!”。

……準備をして“Brü-…”。

○ 620 【ü--ber'm】 “Brü--der!”で!? “ü…”が遅い!? リズムを持ちながら空を飛ぶ。行進するんじゃなくて空を飛ぶ。

● 620 【ü--ber'm〜】 “ü--ber'm Ster-”(612小節の注意と同様)もう少し長く。

◇ 622 【zelt muß】 早く出てくるバスがね、ここでいち早く音が変わる。前の語尾をいち早く切り上げてでも時間内に変わらないと流れが途切れちゃいますよ。おわかりの方は何人もいらしゃると思うけど、実際のところ出遅れますからお願いします。





- 622 【zelt muß\_】 “muß”遅い、遅い、遅い!!! 遅いと言われたら早くという連鎖がないと同じことを10回も言いますよ。遅いですよ。“zelt muß”。一歩前に出ないと。皆さんが一歩前に出ないと。
- ♠ 622 【zelt muß\_】 “muß\_”を言い直すときに、もう少し強く主張してください。さっきのアルトのように“Die-”(606)のようにこぶし入れるとは言いませぬから、バスが“muß\_”と先に出るよという意味をお願いします。
- ……独立していない?? “muß\_”呼びかけ!!

● 623 【ein\_~】 プレス禁止!! “ein lie--ber Va--ter”。

● 624 【lie--ber~】 “ein\_lie--ber Va--ter\_woh-nen.”、ノープレス。ほかの所でとっていいってんの。そこで皆んなプレス切れないで。

● 626 【woh-nen.~】 (ここまで通して歌って) O.K.“woh-nen.”も良く出来ました皆さん。ほとんどの方が“…m”じゃなかった。嬉しいです。で、そこにスタッカート付いていなかったら僕のベーレンライター版にも付いてないから、男性と同じように女性も分けます。“woh-nen.”僕は分けます。ほかの時にはまた修正してください。

- 626 【woh-nen.】 “-nen.”のほうに重さが行かないように。“woh-”(6)“-nen.”(4)ぐらいです。
- ……(6)(4)にしましょう“woh-nen.”。…隙間あけます。

♣ 631 【Ihr\_ stürzt~】 ちょっとテナーが怪しい音程なんだけど。

○ 631 【Ihr\_ stürzt】 皆さん、心境わかるんだ。ここきたときに嫌なときたなと思うでしょ(笑)。それじゃ絶対良い声は出ないの。皆さんの顔色見たらわかるな、ここやばいの私たち(笑)。そういうところだから“Ihr\_”は幽霊みたいな声しか出ないから。今、この前奏ね、皆さんにとっては嫌でしょ?? だからいきなりここは音を取りましょう。…じゃここもまたテナーなしで…、「イーだ」っていう“イ”じゃない“イ”はどこにあるんですか? 柳田先生、延岡弁で??…(柳田先生: 「イ」は…“イ”って言わないことでしょうね(笑)。)」 “イ”って言わなきゃなんて言えば良いんですか? “ダメ”って言うの(笑)。“イ”じゃない“I…”ね。“エ”に近い“I…”だったらどうですか? じゃ振り方を皆さんに。“1,2,3…”、この“…3…”の音が聞こえたら“…r”。そこで僕、そこで指揮棒が落ちますから、その時に“stürzt”。はい5本指出して、“s,tü,r,z,t”。“シュシュシュ”じゃなくて(笑)。“stürzt”は棒が落ちた時にダダダダと“s,tü,r,z,t”。

……良い声だったと思うんだ。思いませんか? “イ”じゃない“I…”。……理屈はわかった?? それと“<>”ありますから、ちょっと息を増やしてください。

○ 631 【Ihr\_ stürzt】 “<>”が急激すぎです!? そんなに蚊が飛んでこない。ほんのり。

……もう少し敬虔な。

……必ず、必ず“Ihr…”で指揮の合図を差し上げますから、自分たちで行かない。

……そこは何を待っているかという“Ihr…”で膨らみっぱなしじゃなくて萎んでくださると“…r\_”が言えるんだけど、まだ膨らむの膨らむのだと(指揮の)3拍が振れない!!

……左右対象にいけますか?? (decreascが速い)

……そうそう、“stürzt”の発音が欲しいの。ダダダダ…そのためには“Ihr\_”の“…r\_”が合わない“シュシュシュ”ってこぼれちゃう、漏れちゃうのね。“イチニーサン\_ダダダダ”。

○ 632 【nie-der.】 もう少し響きを。切ろうと思わないで良いから“nie-der.”ぞうさんのお鼻のように。

……ちょっと切れ目入れて…カンマ入れないで往復運動の中で分水嶺。……そう。それが“Ihr\_ stürzt”の後に欲しいんですけど、多くの合唱団は“Ihr\_…”(怯えてる) stürzt(ごめんなさい)”。になってる!? “Ihr\_ stürzt nie-der.”今のC dur美しい深い響きになるように練習しましょう。お願いします。



……あ、ごめんなさいしてる!? 何? 終点に着いた地下鉄みたいに行ったり来たり!? じゃ、往復じゃなくて延岡通過“nie-der,”。そっち!! ぞうさん良くなかったね。……停車時間はないです“nie-der,”。それ!! それ  
が“lhr\_”から来るかな??

○ 632 【nie-der,】 “nie-der,”(切りすぎず同じ強さ)……“-der,”が早い。

○ 633 【Mil-li-】 “Mil-li-o-nen?”は“M…”をおっしゃるため、どうしても唇が閉じます。でもさっきやった  
“nie-der,”から“ンーM-”と息を止めないで“Mi-li-o-nen?”。“ン…”で皆さんは息が止まるから音程がなくな  
るのね!?

● 633 【Mil-li-~】 “Mil-li-o-nen?”言い切ったね。“…”のイメージ、半信半疑。

○ 634 【o-nen?】 あーやっちゃったあ!! “-nen?”(口を閉じない)。“Mil-li-o-nen?”は“M…”をおっしゃるた  
め、どうしても唇が閉じます。

……“-nen?”、クエスチョンマーク。……“o-”“-nen?”は同じニュアンス。

○ 634 【o-nen?】 “…-nen?”最後は“?”。ミファソソ-ラ?

○ 635 【Ah-nest】 ここ、怖いと思いますけど、“Ah-nest”の“A…”は明るい母音ですから口を大きく開け  
て健康的に“アー”。あー素敵、あー綺麗、あーおいしい。その“Ah-”。……さすがに明るすぎたかな??

● 635 【Ah-nest~】 “An-nest du\_”これも際どい(隙間)、さっきと同じ“Seid um-schlun-gen,”、“アー  
ネスト…ドゥー”じゃない“アーネストドゥー”。

……誰か速い?? “アーネストゥ”。しっかり喋ってください。

♣ 636 【du\_ den】 “den”をもう少し長く。“den Schöpfer,”。

○ 637 【Schöpfer,】 “Schöpfer,”はスタッカートも何もないのに書いてない!! “Schö , pher,”と言おうと  
して短くなっている!?

○ 637 【Schöpfer,】 横に歌う。

○ 638 【Welt?】 僕は例年より短いです。僕違います。“Welt?”(3)“Such'…”。

○ 638 【Welt?】 “Welt?”長い!? (全音符,2分休符)(指揮)2拍いっぱい。

● 639 【Such' ihn~】 (642小節までハミングで歌って)ハミングのfってそんなもんですか!? ここが一つ  
の難所でその次もっと難所と皆さん思ってるでしょ。これがハミ  
ングで出せれば絶対に音程はくるいません。ハミングやって次や  
ると絶対うまくいくんです。でも言葉を喋った瞬間にずり下が  
る!? ね、皆さん痛い思いいっぱいしてると思う。ハミングで必  
ずクリアしましょう。そしたら“Such”は鳥肌がたちます。

○ 639 【Such' ihn】 “Such'!”は鳥肌が立つように。

○ 639 【Such' ihn】 “…ch”ホ。(摩擦音は742小節の“such”と同  
じ)



● 640 【ü-ber'm~】 “ü-ber'm”の発音が速いんです!? “ü-ber'm Ster-…”。“Ah-nest du”それと同じ。  
“ü-ber'm、Ster-…”(切れて)ではない。

……“ü-ber'm Ster-…”(“…べールムシュテ…”)

● 641 【Ster-nen~】 長いcresc. “ü-ber'm、Ster-nen-…”っていったん切れると思わないでください。  
“ü-ber'm Ster-nen-…”ってずっとゴムで繋がってるんです。その粘りが大きなcresc.を生むんです。そ  
こ途中で休憩しないでください。

- 642 【zelt!】 まだ切っていない、まだ切っていない!? (早く切りすぎ)
- ♡ 643 【Ü-ber】 同じ狙い所に“ソーミー”って。“ミー”はどっかに飛んでいったり高いところに跳躍したりしない。みなさん鍵盤でいうと6度、そこへ飛ばないとけないと思うから体のポジションが変わっちゃうのね。音楽の強みは同じポジションでいろんな声が出せることです。“ソーミー”は鍵盤を追わない。お腹でひっくり返す。
- 646 【woh-nen,】 こども全然長い!? これも拍内です。必ず(指揮棒で)切りますから、切る準備をしてください。
- 646 【woh-nen,】 “…nen.”長い!?長い!? 拍内で!!
- 654 【woh--nen.】 “…n”は口を閉じない。
- 650 【～】 pp. もっと軽く薄く!! 針と糸、針の穴から…。  
 ……(いきなり“ü-…”と出て減衰した歌い方はダメ)体楽にするんですよ。しっかり立って二本足で。体を目一杯楽にして。  
 ……歌い出す前に溜めていて、時間どおりに“ü-…”。
- 650 【】 (伴奏の音“ミーソー”) 出番。  
 ……(いきなり“ü-…”と出て減衰した歌い方はダメ)体楽にするんですよ。しっかり立って二本足で。
- 652 【Ster--nen～】 “muß er woh----nen.”、“muß…(必ず…)”という確信に対して“かもねえ…”という悲鳴に聞こえてくるので、弱いんだけど確信に満ちている音楽が欲しいんです。でも皆さんの肉体が悲鳴をあげているのは良く知っています。それを感じさせないでくださいね。声がだんだん悲鳴になってますよ。
- ♡ 653 【who----～】 そこアルト、嫌だよ。ちょうどアルトに向かない音で細く長くっていうね、とても過酷なこと要求される。良おく知ってます。かなりいい線いってますよ。もうちょっと言葉を犠牲にして一刻堂のように「何言ってるのかわかんないんだけどさ、でもちゃんと歌えるでしょ」っていう感じですね。口全部あくと言程が落ちちゃう。…ね、その(口を動かさない)ほうが音程、いいでしょ。それで最後“----nen.”(654)口閉じちゃいけないでしょ。
- 654 【woh--nen.～】 良かった、良かった。だけど最後まで“…-nen.”確信を持って。
- ◆ 655 【Freu-de, schö-ner～】 この形が出てきたら、どのパートもトランペットです。……やっぱり音がみなさんとして得意な所と少しきついなという所がもうちょっと均されるといふかバランスがとれると良いですね。
- ♡ 655 【Seid\_ um--～】 この付点2分音符が繋がるパターンがほかにも出てきた時に、長く振り子のように歌います。……それぞれがもう少し遠くに飛ぶように。  
 ……“Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”(～662小節)まで繋がらない!? 今、最初は出足すごい良かったんですけど。だから息が足りなくなるとともにテンションが落ちていくのを修正して。
- 655 【～】 今までは皆さんコーラス四声帯の良さを十分に発揮したと思いますが、ここからはそれぞれのパートの戦いです。  
 ……(729小節まで通して)皆さん戦いのほうが得意なんですか?? それぞれが主張し合うのは悪くないですよ。



◇ 658 【ly-si-um,】 “…um,!”? 私、誰ですか?? 「ウめだ」とドイツ人は言います。日本の“う”じゃなくて「ウめださん…」の“…u…”にしてください。(口の)奥で。……“う”の梅田!? “…um,.”

♥ 660 【Kuß der~】 “Kuß”はそんなに急に短くなくて良いですから。それよりも“Die-sen Kuß der ganzen welt!”そこまでセットね。“全世界へのキス”ね。横に繋がってるの。“Die-sen Kuß der ganzen welt!”って歌った時、“Die-sen Kuß、 der gan-zen welt!”って切れないでしょ。だから“Kuß”はそんなに短かすぎなくていいってお願いしたんです。

♥ 661 【gan-zen~】 “gan-zen Welt!”常に声は増えていくんです。みなさんの肉体は減っていくんです。でも歌は増えていくんです。この相反する矛盾をみなさんの工夫と技術でカバーするんです。全部最初に息を込めにかかったとしたら頭からだんだん萎んでいく、当たり前ですよ。そうじゃなく聴かせないと歌にならない。そのためにチューブ絞るんです。ギュ絞って。必ず出るから!! チューブ、全然掴んでないから最後まで。毎回新しいの出して口



クに絞ってもいないものを捨てちゃってるから!? 最後まで絞って!! 勿体無い勿体無い。

……“gan-zen Welt!”の最後まで行こうという意思がないでしょ!? 勘弁してください?? 戦いに負けてるんです最初から。今の状態をテナーに渡せばテナーが浮き立つだけです。

……“gan-zen welt!”, “世界中”。(今のだと)感じないでしょ!? 世界を。

◇ 662 【Hei-lig-tum!】 一番底(得意でない)になるのね。そこを聴きたい。

♥ 662 【Welt! Seid\_~】 バランスのケア要らないです。テナーが出たら私たち引っ込んでおこうではなくて、常に4声帯が常に戦っててください。アルト、今テナーが入った時に弱くしたでしょ!? 要らない省エネなし!! ……アルト楽しくないでね。低い音だからね。

◆ 664 【Freu-de!~】 人数の少ないソプラノは少し辛かったかもしれないけど、“Freu-de!”って合の手を入れるところ(ソプラノ:664,666小節、アルト:672,674小節、テノール:680,682小節、バス:694,696小節)、やっぱり皆さんは“への字”になって“どうだ!”って顔されます!? 歌ってから僕の顔見ない!!(笑)。“Freu-…”前に飛び出るぐらいで主張してください。そうじゃないとこうした声が入り乱れた中で聞こえてこない。息を溜めて“スポン!”、“Freu-de!”。

♠ 670 【Hei-lig-tum! Seid\_~】 アルトの皆さん、悲しいでしょ。さっき僕がアルトに言ったこと(661,662,663小節の注意)何にもやってくれない。イチを聞いてもニもわかんないバス。僕はアルトに何言った?? “Seid\_ um-Schlun-gen, Mil-li-o-nen! Die-sen Kuß der ganzen Welt,.”(弧を描くように歌って)チューブを絞ってくれと言ったんですよ。チューブを絞って声を増やしていかないと歌にならないと言ったんです。何もできていない!!!! 全部語尾に休みが入ってる!? 休みなしで、切れ目なしとは言いません。休みがないように絞ってください。最後の音で全然筋肉使ってない!?

♠ 670 【Hei-lig-tum! Seid\_】 バス、しっかり見てください。ffが“Seid\_”で他のパートより先取りしてるでしょ。先取り!!って聞こえたいの。さっきの“muß”(622)と同じように。その喰った感じが積極性を生むんです。お願いします。

……一歩前に出て!! “Seid\_”。「俺たちは!!」という勢いがいい!? 出遅れている。

……早く入った分、(終わりが)早いよ!?

……“Seid\_”先取りしないと!!

♠ 672 【Schlun-gen,】 “…-gen,.”は鼻濁音。覚えて!!!! もう言わないから。

● 677 【gan-zen~】 “gan-zen Welt!”(アルトへの注意)聞いてた?? 素晴らしいねえ身につかなさ!? 何度同じこと言わせるの??

……“gan-zen Welt!”(尻窄みじゃなく)行くんだよ。全部チューブを絞るの!! じゃないと声出ないです。

♠ 730 【Ihr stürzt】 “イ…”じゃない“lh…”でしたね。さっきソプラノにもお願いしたけど、皆さん得意分野・不得意分野の色分けがはっきりしてるんだけど!?

● 730 【Ihr stürzt~】 こどもね、なんだか腫れ物に触るように歌ってるでしょ。ここの歌詞はさっきどこで聴きました?? (631小節) だから不気味に歌うというよりもちゃんとリズム通りに言葉を喋っていかないと。

……“イ…”じゃない“lh…”でしたね。さっきソプラノにもお願いしたけど、皆さん得意分野・不得意分野の色分けがはっきりしてるんだけど、“Ihr stürzt nie--der, Mil--li-o--nen? Ah--nest du …”ってずーっと連鎖していかなきゃいけないから、音の高低でエネルギーが分散しないように工夫してください。

……どうも皆さんお見受けするところ、歌いなら全部後ずさりするイメージがある!? 僕どんどん近づいて一歩前に出てるんですけど(笑)。皆さんは近づいてきてください。だからこれだけ遠くにいるんです。だって(目の前)ここにオーケストラがいるんだもん。皆さんは会場にむかって歌うでしょ。ここに向かって僕の顔に向けて歌ってるんじゃないから。皆さんその狭い空間で一歩前に出る感じで“Ihr stürzt nieder Mil--li-o--nen”と攻めてきてください。そういう音楽だから。

……今、引っ込んだでしょ!? 意識ない!?

……気持ちはありがたいけど、テンポまで前に行ってますよ!? 気持ちを前に。

……今特別にねピアノはサービスして(リズムの)中味を弾いてもらってるんだけど、皆さんそれに負けてるでしょ!! サービスを受けてください、おもてなししてますから。

♣ 737 【Welt?】 音程が微妙でしたけど、良いリズムでした。

♡ 738 【Such' ihn】 これは辛いね、低いから。でも意義を出しましょう。アルトの魅力は色気です。

……もっとゾーツとするように出して。

……バス、テナー、ああ回ってきたあ…じゃ息が出ないんです。全部出して、すぐ吸えるから。

● 745 【zelt! Brü~】 “Brü-der!”(745748小節)は2回とも“Brü-”のほうに力を6。“-der!”に4。今は半々というか、どっちかというところ“-der!”が増えてる!?

○ 745 【zelt! Brü】 “…zelt!”をちゃんと歌わないうちに“Brü…”って急いでいる感じがする!? “nen-zelt! Brü-der!”は全然違う呼びかけです。慌てないで。

……(“…zelt!”をしっかり歌いきって“Brü…”)理解できました?? マイク潰れてない!?!? 理解できましたあ???? そのための練習ですから稽古は厳しいですよ!! だから覚えてください。

……何人か正しいけどまだ突っ込んでるね。突っ込んででも良いから“Br…”で待ってて。“…r…”はいくら巻いちゃっても良い。だけど“…ü…”に行っちゃったら終わり!! “…zelt!”が短く“Brü…”だと漏れたことです。ね、漏れないでください。

……“Brü…”に力が溜まらない!! 呼びかけですから。集結しない。呼びかけにならない!? ね、2回(748小節)呼びかけなきゃいけないぐらいのエネルギーで。……本気で“Bru-der!”歌って!! 一応“…zelt!”歌ったつもりで…はい1回目。

……あと4倍のパワー!! 美しい声。それで“Bru-der!”のバランスは6:4。

……良いじゃないですか。でもこんなに大きい声出さないと本気出さないの、皆さん。じゃ一生出ないの??? いつも本気出してないと!!! ステージに立ってお客さん入った、九響が来た、では本気出ないですよ。大丈夫?? この練習を積み上げないとダメですよ、ここに居ない人も。なんで本気って言わないと出ないの?? 出せるじゃない!! 出し惜しみっていうんですよ。

● 745 【zelt! Brü~】 “Brü-der! Brü-der!”2回のムードは変わらないんだけどね。



- 749 【ü~】 (745748小節で)“Brü-der!”“Brü-der!”と呼びかけた向こうに“ü--ber'm Ster---nen-zelt…”というのが広がってるんですよ。そこを皆さんは仕切り直して強力なcresc.!? それは全然質の違ったcresc.です。キューツと攻めるのは無しです。漂ってきてください。  
 ……テンポは?? どうなってる? どうなってる?? 遅れてる!! わからなければ遅れは取り戻せない。まず遅れてます。……遅おい!!!!…と思わない!?!? 棒見てて思わない??  
 ……??そこ(<>)書いてあるう?? 癖なんだけど!?!? いきなりそこで別世界広がった瞬間にこねくり回してるんだけど、自覚ありい!?!? cresc.するにしてもその後(751小節)でしょ!! “ü-ber'm”には何もないんだよね。そこはハーモニーを。皆さんとくいんではないかもしれないけど喧嘩するところじゃなくてハーモニー味わうところなんです。  
 ……やったねその癖(cresc.)ね!? やっちまったね!?!? そこは味わう所。癖がとれないなあ!?!? …僕が怒ってもしょうがない。皆さんが自覚しないと。僕のためにするんじゃないです。書いてあることをやっていただく。今のは皆さんにいつしか付いた悪い癖です。そこに書いてないです、cresc.も“<>”も!! 覚えて帰りましょう。……まだ自覚されてない方がアルトにおられるけど!?!? ご自身のことと思って皆さん楽譜をご覧になってください。“ü-ber'm”のここはハーモニーを味わうところですよ。ね、自己主張するところじゃないです。  
 ……ベートーベンが意外な展開を見せたんですよ。皆さんの歌声だと意外性が出ないんです。“Brü-der!”(745小節)“Brü-der!”(748小節)その向こうに全然違う世界が広がりたいんです。ご理解いただけませんか!? 大丈夫?? じゃ泣いても笑ってもコレ最後ね、あとは僕が見捨てるだけだからね。  
 ……“ü-ber'm”の所、良かったね、みなさん味わえた?? 美しかったです。O.K.よ。そんな難しい顔しないで。やっと体得しました?? でも“Brü-der!”、“Brü-der!”…“Ster---nen-zelt”の“Ster---”は忘れたね。空がフワッと広がっていくcresc.ね。ウッーっと手で拳を握るcresc.や小指を立てるcresc.じゃなくて。“Ster---nen-zelt”という広がり。で、広がってるうちにテンポも広がったよね。  
 ……だめじゃなくてコツです。“ü-ber'm”の“…'m”をおっしゃってないから(751小節)“S…”が合わないんですよ。“…ber'm Ster…”ここ速いですよ。“Ster…”で終わらないでね(笑)。忙しいのは“…ber'm S…”。“…ter…”からゆっくり。“St…”に入ったら“Ster---nen-zelt”の世界。  
 ……今日はこのぐらいにしておこう(笑)。まだね皆さんは「いやいや行かないで!!」って感じですよ。すごいテンポでピアノは弾いてるけど!? 皆さん遅れてるよ!! 遅くなる癖ついてるよ!!!! はい。自覚してください。

- 751 【Ster--~】 “ü--ber'm”と歌って、それで“Ster---nen-zelt…”で少おし脹めば良いんです。それをキューツと押しつぶさないで空が広がるように音を上げれば良いんです。イメージでね。



- ♥ 753 【zelt muß\_~】 “muß\_”は途中経過なし。しっかり落ちましょう。

- 758 【ein\_~】 ここから“-nen.”(762小節)までだんだん弱く軽くなっていくように楽譜は書いてあるね。そこで遅くなってとは書いてないんです。皆さん弱くならず遅くなって!?!? 遅くならないで弱く軽く浮き上がるようにして“woh---nen.”と切れています。  
 ……かなりサービスしてピアノを前に弾いてくださっていますから、みなさんがそれを聴きながら、遅れまいとしながら音楽表現ですよ。ただ時間さえ合えば良いんじゃないですよ。“星空のかなたに…”というイメージ、広がりました?? 今の歌い方は“…間に合ったあ…”(笑)。

- 762 【-nen.】 “-nen.”の入りが遅い。なかなか癖が取れないですね!?!?

- 762 【-nen.~】 タイミングとても良くなりましたから、とても良く練習なさったんだと思いますけども、もう少し美しく軽くなっていきましょう。イベントでただ終わっていくんじゃないで軽く軽くなっていきましょう。  
 ……そう。“-nen.”がホールだときちんと響くでしょ。

○ 762 【-nen.】 ちゃんと切るまで頑張る。

● 795 【Dei-ne Zauber,~】 cresc.してくださった!? cresc.のコツは?? “Dei-ne Zauber, Dei-ne Zauber,”喋って歌うのは良いですよ。でも“bin-den wie-der, bin-den wie-der,”をまた後ずさりしたでしょ!? 前に行くためには語尾で増えていくんですよ。

……(803小節まで歌って)良くなったでしょ。ということが自分に自信をつけていくことですよ。

● 795 【Dei-ne Zauber,~】 “ダイネツアベル ダイネツアベル”?? “ダイネツアオベル ダイネツアオベル”。

● 797 【bin-den\_~】 “bin-den\_wie-der,”(“縦縦\_横”)

● 801 【was die Mo-de~】 “was”足りない!? “was die Mo-de”の“Mo-de”。それをおっしゃれば“streng\_ge-teilt.”は上手に歌えます。2つお願い。cresc.で語尾を強めに歌っていくこと“was die Mo-de”。



○ 801 【was die Mo-de】 “Mo-de”“モオーデ”。初モオーデ。

● 809 【Men-schen,al-le~】 “al-le…”に入ろうとしているとき遅くなるようにしているでしょ!? で「しまった」って(810小節)“-schen”に早く入ってるでしょ!? そのPoco adagio見えた瞬間に遅くなるようにするでしょ!? でも指揮は行っちゃったから「あ、やばい」と思って“-schen”を速く歌って済ませてるのね。(遅くなるのは810小節から。ここまではそのまま)

● 810 【Men-schen wer-den~】 (806小節)“Al-le Men-schen, al-le Men-schen, al-le Men-schen, al-le Men”(ここまで行きますから、その後は僕の指揮を見てください。それまではまったくの躊躇なしに。

……楽譜をゆっくり見ましょう。“Men-”はアクセントですかdim.ですか? dim.が良いですから。“-schen”はp。間違っていないよね。皆さんの“-schen”はpになっていないよね!? ちなみにベーレンライターは“Men-”がアクセントになっていますが、いずれにしても“Men-”の強さを引きつぐわけにはいかないで、dim.になっても大丈夫なんですけど、必ず“-schen”はpになってくださいね。ご理解いただけました??

……指揮をぜひご覧になってください。テンポがかわってますから冒頭の“… Men-”まで指揮見なく良いって言いましたけど、“-schen”は必ず見てください。

……もうちょっと指揮をしっかりと見られますか、(テンポを)キャッチできますか?? いつ“-sc…”なのか、指揮棒と待ち合わせしましょう。

……指揮見て!!!! “Men-schen”って差し上げるから指揮見て。皆さん毎年、指揮者と練習してきたんですよ?? 大丈夫?? なかなか手強い合唱団だねえ…。僕も100回超える第九をやってますけど、なんか手強いわ。そしてこんなに大きな声でリハーサルすることも皆さんにはびっくりかもしれないけど、僕もびっくりですよ!! なかなか本気の声が聞こえないから!? …ご理解いただけました?? はい、頑張ろう。

● 812 【sanf-ter~】 (806~814小節を歌って)はい。どうなったかがおわかりになれば良いです。そこに悪い癖が潜んでいます。(ここから814小節にかけて遅くなってしまっている!?)

◆ 814 【\_~】 ギリギリ(テンポは)セーフね。そこ(812小節)船こがないで漂った中で十分に遊んでください。今、遅くなるのが遊びになってる!?

○ 830 【Men-schen,】 “…n,”だと響くでしょ。試しに“…m,”で言ってみて。ね、それを“…n,”これだけ違うんです“…m”と“…n”の違い。ね、柳田先生のおかげで随分直りましたね。

○ 832 【Men-schen!】 “Al-le Men-schen!”そのまま。遅くならない。

……ああやった!? (“…n!”は口を閉じて終わらない!!) “Men-schen!”の“…n…n!”2つとも鼻に響かせる) 剣道で“めーん!”を“めーむ!”と言わないでしょ。鼻にちゃんと響くように。日本語で言う“ぬ”、それがエヌになって“…n…”。しりとり的なやつは“ん”、(よく聞こえない時の“ん?”のイメージを示し)結局、鼻でしょ。それをテンポで歌い切る。

- 885 【Welt! der~】 “Welt!”(ほかに885,887,891,893小節)、さっき(610小節)やったよね“え”にならない“…e…”。“Welt!”をおっしゃるといことは“der gan-zen”がセットになってなきゃいけないんです。“der gan-zen Welt! der gan-zen Welt!”。それは塊です。“der gan-zen”から“Welt!”にベクトル向かうんです。皆さんは“…Welt!…Welt!…”しかないの?? その矢印を感じてください。
- 916 【-ter aus E~】 “E-ly-si-um!” p!! p!!!!。嘘を歌わない!!。書いてあることをやりましょう。……“Toch--ter aus E-ly-si-um!”、“… E-ly-si-um!(楽園)”。
- 916 【-ter aus E~】 “Toch---ter aus E-ly-si-um,”ベートーベンはこういうキャラクターがいっぱいありますけど、突然違うもの(“E-ly-si-um,”からpp)を出すのね。「ここ崖!?」っていうぐらいびっくりしたい。今、みなさんそうなると知って歌ってるから。……崖からは飛び込まない!! 別物。
- 918 【Freu-de, schö--ner】 “schö--ner(縦)”…“…ö…”は“オ”の口で。
- 920 【fun-ken!】 “-ken!”(“n”であって“m”ではない)。はい、笑顔!! これにておしまい、お疲れ様でした。
- 920 【fun-ken!】 “…n…n!”どちらも口を閉じない。…そうそう響くでしょ。“…n”は良く響くんです。良いホールじゃないですか。皆さんだいたい本気が出てきて嬉しい。この調子をキープしてください。まだ時間は先ですからリセットしないでくださいね。どうですか後ろに男性がいると響きがまとまるんですよ。例えばムジークフェラインのコントラバスはオルガンの下に並んでいるでしょ。あれと同じように。(公演ひな壇配列は男性が上、女性が下) ぜひこれをお願いします。失礼なこといっぱい申し上げましたが、良い演奏会のためです。今、みなさんの本気度がだいたい見えて嬉しいです。

## @ 「聖夜」

- 1 【Si - lent night~】 ほら合わないでしょ!! みんな休みを付けてるんだ。(“night”の語尾。“Silent night Holy night”をつなげて歌う) さっきやったよ。“Seid um-schlun-gen,”。
- 1 【Si - lent night】 あまりサイレントじゃないね!?
- 4 【all is bright~】 “blight”。日本語だそれ!? …ほかに“night ”(英語の発音で“…t”) 聞こえない!? ドイツ語じゃないけど、ちゃんと語尾を言わないと。……“blight”(再度指摘)
- 6 【Mother - and child】 “child”(語頭の“ch…”の子音)
- 9 【Sle - ep in Hea - ven - ly】 “Heavenly”のとき“へ~”って言わない!!
- 4 【ハミング (all is bright の部分)~】 (ハミング終わり)短いよ!?
- 8 【ハミング (ten - der and mild の部分)~】 苦しいから息吸いにかかっているでしょ!? 吸うのを音楽の中に入れないで。吸うなって言っていないの。音楽の中に“スー”は要らない。
- 12 【ハミング (peace の部分)】 (“peace”の語尾)休み。